

ゆきとじいじいのオリエンテーリング問答 No.5

ゆき・じいじい

全日本大会に参加したぞ。

ゆき：渡辺幸 パパ：渡辺浩 おばあさん：武石ケイ子 じいじい：武石雄市

ゆき「じいじい、遅かったね、スキーのストックを持ったりしてさ、どうしたの」

爺爺「ゆき、爺爺の足の痛いのが知らなかったんだけ、爺爺はね、イタリアのスキーO 大会怪我しちゃってさ、走れないけどオリエンテーリングをしたくてストックを突いて行ってきたんだよ。3時間もかかっちゃった。幸たち早かったんだね」

ゆき「うん、少し前にゴールしたんだけど、おばあさんとパパは爺爺の荷物のところにいるよ」

爺爺「おばあさんも、幸と一緒にトリムOに出たの？」

ゆき「うん、パパと3人で家族組みだよ」

爺爺「何点取ったの？」

ゆき「30点の16番に行かなかったから270点かな」

爺爺「ふーん、一個だけ行かなかったのか。」

ゆき「うん、行けたんだけどね、一番とおいところだったしさ、おばあさんが走れないんだもん」

爺爺「おばあさんしばらく大会に出てないし、毎日のお仕事で疲れ

てるんじゃない」

ゆき「おばあさんも走ったよ。ゴールしたら時間がいっぱい余ってたから行けばよかったな」

爺爺「そんな、全部に行けるトリムだったの？ 地図があるじゃない、どんな順番に行ったの」

ゆき「スタートがこの広場で、1番と3番をとって、4番の小道に行って5番までは簡単」

爺爺「うん、そのあとは」

ゆき「おばあさんとぼくは7番に行っておバを待つことにしたの。そしたらさ、パパが6番をとって途中で追いついたんだよ」

爺爺「パパ走ったんだね。それからどうしたの」

ゆき「8番に行って10番に行ったの。9番はまたパパ一人で行ってきたんだよ」

爺爺「この辺に変な記号があるけど何だった？」

ゆき「これか、アスレチックだったよ」

爺爺「ここから16番はすぐだったのに行かなかったのか」

ゆき「だっておばあさんが走るの遅いからゴールまで時間がなくなっちゃったんだよ」

爺爺「それもそうだね、でも、おばあさんは時間がいっぱい余ってたのにな、くやしそうだよ」

ゆき「そこからは、14番、13番、

12番、11番をとって、残してきた2番をとってグランドの真中にゴールしたんだよ」

ゆき「ぼく、何等だか見てくる」

ゆき「おばあさん、じいじい、ゆきたち2位だって、みちあき君たちが1位だったよ」

爺爺「あれ？みちあきくんたちは10分くらい時間オーバーして、2番にも行かなかったとお父さんが言ってたけど、変だね」

ゆき「減点されなかったんだね」

爺爺「係りの人たちが引き算しらないじゃない？」

ゆき「え！そんな、でも、ぼく賞状もらえたからうれしいな」

爺爺「そうだね、ゆき、おめでとう。パパが頑張ったおかげだね。賞品ももらったのか。」

ゆき「ぼくたちお家に帰るね。ママと綺羅君が寂しがってるから」

爺爺「じゃーね。ゆき！米沢大会はお手伝い頼むね。ママと綺羅君によろしくね」

後日談

おばあさんが会場を後にするとき、トリムの責任者から、惜しかったですね。と声をかけられて減点のことを聞いたら、間違いに気づいて、幸の家に1位の賞状が送られてきたそうです。

【イベント広告】

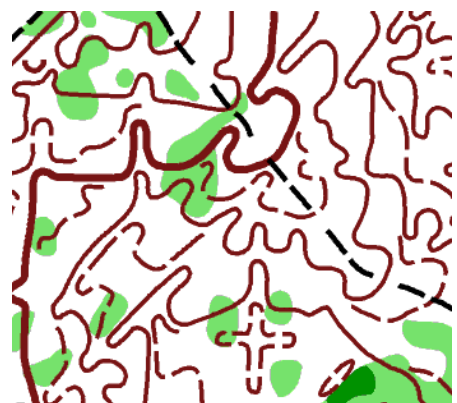
今までさまざまな理由により、誰も手をつけられなかったスーパーテレインがインカレショート2001で初めてO-map化される。白く平らなテレイン。走りさえぎる物は何も無い。ナビゲーションとスピードだけが真に試されるテレインである。今は静かに21世紀最初のチャンピオンが来るのを待っている。

2001 年秋は北陸へ！

11月23日（祝）モデルイベント

11月24日（土）インカレショート（石川県）

11月25日（日）東日本大会（福井県）



調査中の地図の一部（等高線間隔2.5m）